

給食を通し 交流と理解を深める

小中学校の給食に 北海道産のホタテ

学校給食用の食材として、北海道森町からホタテ貝柱が提供されました。提供されたホタテは、1月29日の給食でホタテのバターしょうゆ焼きに使用され、食べた子どもたちからは「とても美味しい」「こんなに大きいホタテを初めて食べた」などの声がありました。

ホタテの提供元である森町には、町から西会津産コシヒカリと子どもたちからのお礼の手紙を送り、感謝の気持ちを伝えました。



にしあいづ健康ミネラル野菜普及会より

ミネラル野菜を学校給食へ寄付

1月29日、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが町給食センターを訪れ、自ら育てた大根などのミネラル野菜を寄付しました。普及会会長の物江義榮さんが、「ミネラル野菜を食べて風邪に負けず元気に過ごしてほしい」とあいさつしました。

普及会では、毎年1月24日から30日の「全国学校給食週間」に合わせて、ミネラル野菜を寄付しています。



さゆり銭太鼓でつながった輪

さゆり銭太鼓 25周年記念発表会・記念講話

1月24日、町老人クラブ連合会のさゆり銭太鼓25周年記念発表会が公民館で開催されました。

第1部は、一般社団法人地域包括ケア研究所の奥知久医師による「銭太鼓でつながり始めて25年そしてさすけねえわ(輪)」の記念講演がリモートで行われました。その中で、鎌田實医師から「運動して筋肉がつくと、背筋がピンとして、温泉に行ったり、おいしいものを食べに行ったりすることが、しあわせ感につながります。運動は、やり続けることを勧めています。銭太鼓も30周年目指して頑張ってください」とのメッセージがありました。

第2部は、銭太鼓の発表が行われ、9つの曲目が披露されました。その後、4年ぶりに飲食を伴う新年会が開かれ、参加した皆さんは親睦を深めていました。





新たに2人が着任

地域おこし協力隊辞令交付式

2月1日、町役場で地域おこし協力隊辞令交付式が行われ、集落支援担当と芸術・アート担当の計2人が着任しました。式では薄町長が「それぞれの担当で若い力を発揮し、西会津町を全国にPRしてほしい」と激励の言葉を贈りました。

井上さんは企画情報課、平澤さんは商工観光課に所属し活動します。2人の着任により、町内で活動する地域おこし協力隊は計11人となりました。

【令和6年2月1日現在】



井上 朋 隊員

【担当】集落支援



平澤 ことり 隊員

【担当】芸術・アート

議案を審議・可決

町議会臨時会報告

1月22日に臨時会が開かれ、次の議案が原案のとおり承認・可決されました。

◆令和5年度西会津町一般会計補正予算（第9次）＝国の経済対策に係る補正予算に要望していた事業が採択されたほか、生活応援商品券に係る事業費やふるさと応援寄附金事業に係る経費を計上したことに伴う補正

町長コラム**その38**

第34回西会津雪国まつりが雪の無い中で開催された。過去に雪が少なく中止となったことがあるが、今年のような年は長い役場人生の中で記憶にない。まつり期間中は少し不安定な天候であったが、昨年より多くの来場者があり、主催者として大変嬉しい限りで感謝の気持ち一杯である。雪が無く取り止めたイベントがある中で大盛況だったのが、今回、特別企画として開催した「石巻市海鮮フェア」の焼きホタテとカキの販売である。初日から長い行列ができ、1時間以上待たないと食することができない状況は、これまでに無く皆さんに喜んでいただいた結果と受け止めているが、石巻市観光協会および市役所の皆さんのご協力により実現できたことであり、心よりお礼を申し上げます。また、特別上映会として、友好交流都市の横浜市鶴見区の皆さんによる沖縄のエイサーをテーマにした「なんでもかみー鶴見ガーイーにはまだ早い」を上映。鑑賞された皆さんの感想を知りたいところである。

今回の雪国まつりを通して、イベントは継続することでさまざまな効果が生まれることを感じた第34回西会津雪国まつりだった。

今年の7月には、町制施行70周年を迎える。今日の西会津町の礎を築いてこられた先人たちが町民の想いを胸に、さらに80年、100年に向け、未来に持続する西会津町をつくるため全力で取り組んで参りたい。

西会津町長

薄 辰喜